



Lena Okajima

岡島 礼奈

株式会社ALE
代表取締役／CEO

【会社所在地】〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目11-8

【事業紹介】ALEは「宇宙エンターテインメント事業 (Sky Canvas)」「大気データ事業」「宇宙デブリ対策事業」に取り組む民間宇宙スタートアップ企業です。



【PROFILE】

1979年生まれ
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻にて博士号(理学)を取得。卒業後、ゴールドマン・サックス証券へ入社。2009年から人工流れ星の研究を開始し、2011年9月に株式会社ALEを設立。現在、代表取締役/CEO。宇宙エンターテインメント、大気データの取得、宇宙デブリ対策装置の開発を通じ、科学と人類の持続的発展への貢献を目指す。

【創業年】2011年

2019年、経済産業省のJ-Startup企業に選出。
2019年、外務省主催のG20大阪サミット「Japan Innovation Lounge」出展。
2020年、第34回独創性を拓く先端技術大賞にて経済産業大臣賞を受賞。
2020年、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のJ-SPARCにおいて、宇宙デブリ対策デバイスの事業共同実証を開始。

【座右の銘】 宇宙を、好奇心に動かされた人類の、
進化の舞台にする

基礎科学発展への貢献を目指して

科学は人類の持続的な発展に不可欠だと考えています。天文学を学んでいた学生時代、日本の基礎科学研究が主に公的資金で賄われており、研究者の皆様が予算獲得のために膨大な苦勞をされていると知りました。公的資金に頼る以外の仕組みを作れば今まで以上に基礎科学が発展するのではないかと考え、ALEを設立しました。

会社の特徴

科学を社会につなぎ 宇宙を文化圏にする

ALEは青二才のような好奇心、宇宙空間というブルーオーシャンを文化圏に変える開拓者精神、人類のちっぽけさと可能性を忘れないPale Blue Dotの視点を大切に事業に取り組んでいます。オープンイノベーション体制であらゆるパートナーと協力・共創し合いながら、科学と人類の持続的な発展を目指しています。

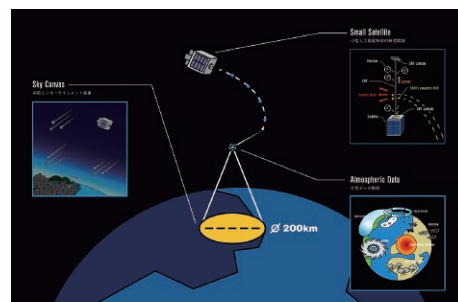
事業・サービスの強み

世界初の人工流れ星で「エンタメ」と「科学」。 宇宙開発の当事者としての環境作りを。

世界初の人工流れ星を2023年に実現する予定です。人工流れ星は空を彩るだけでなく、大気データを取得して気候変動の解明に寄与する事を目指しており、「エンタメ」と「科学」の両面で価値を創出します。新たな宇宙デブリの発生を予防する装置も開発中。軌道上環境を維持してサステナブルな宇宙産業の発展に貢献します。



▲コーポレートビジュアル



▲ALEの取り組む3事業